



図書館だより

NO.10

丸亀市立綾歌中学校 令和5年 2月号



2月は1年で一番寒い月ですが、旧暦では「立春」の日を迎えると、“冬が終わり春になって1年が始まる”と考えられていました。冬の北風にかわって東風が吹くようになり春を運んできます。「東風吹かば匂いおこせよ梅の花主なしとて春な忘れそ」と菅原道真が詠んだ歌は有名です。また迎春花と呼ばれる「黄梅花」が咲き出し、春告げ鳥「うぐいす」の鳴き声も聞こえてくるようになります。



今月の風物詩—豆まき

新しい年が始まる「立春」の前に邪気を払う行事が、節分の豆まきの始まりだそうです。昔、中国で行われていた鬼追いの「追儺（ついな）」という行事と、日本にも古くからあった「豆打ち」という風習が合わさって広まったものが豆まきです。



～今年の恵方～

「恵方巻」の習慣は、江戸から明治にかけて大阪で商売繁盛や無病息災を祈って食べたのが始まりです。恵方に向かって願い事をしながらまかぶりすると願いが叶うと言われています。

今年の恵方は南南東です。



蔵書点検のお知らせ

年度末は蔵書点検があるため返却期限は2月末となっています。1冊でも返却されないと点検ができませんので必ず期限を守ってください。

※貸し出し終了...2月17日

※返却完了...2月28日

3月1日以降は完全閉館です。

第168回芥川賞・直木賞受賞作品決定！

2022年度下半期となる第168回芥川賞・直木賞受賞作品が1月19日に発表されました。芥川賞は佐藤厚志さんの『荒地の家族』と井戸川射子さんの『この世の喜びよ』、直木賞は小川哲さんの『地図と拳』と千早茜さんの『しろがねの葉』に決定しました。

芥川賞と直木賞は、1935年（昭和10年）、香川県出身の文豪・菊池寛が創設した文学賞で、芥川賞は純文学作品に、直木賞は大衆文学作品に与えられます。

《芥川賞》

佐藤厚志『荒地の家族』



震災の2年後に妻を病気で失い、息子と母親と暮らす植木職人の男性が主人公。震災から続く喪失感がテーマです。

《直木賞》

小川哲『地図と拳』



第二次世界大戦までの半世紀、旧満州の架空の町が、様々な勢力によって栄え衰退していく様子を描いたSF小説です。

井戸川射子『この世の喜びよ』



ショッピングセンターで働く女性が常連の少女と交流することによって、自らの育児の記憶をたどっていくお話です。

千早茜『しろがねの葉』



シルバーラッシュに沸いた戦国時代末期の石見銀山で、過酷な境遇を生き抜いた一人の女性の物語です。

新しくいった本



〈単行本〉

レッドゾーン 	夏川草介	長野県信濃山病院の院長・南郷は、クルーズ船内で増加する新型コロナウイルス患者の受け入れを決めました。感染症医のいない地域病院に衝撃が走ります。『臨床の砦』の続編。
競争の番人 内偵の王子 	新川帆立	公正取引委員会の審査官・白熊楓は、九州事務所への転勤を命じられましたが、配属先は、次々と離職者が出るいわくつきの部署でした。上司のパワハラ、人員不足に苦しみながらも、エース・常盤とともに呉服業界の内偵に乗り出します。
麦本三歩の 好きなもの 第二集 	住野よる	新しい年になって、図書館勤めの麦本三歩にも色んな出会いが訪れます。真面目な後輩、謎めいたお隣さん。マイペースな彼女の、あいかわらずけどちょっとだけ新しい日々を描いています。
赤ずきん、 ピノキオ拾って 死体と出会う。 	青柳碧人	ミステリー界に衝撃のデビューを果たした「赤ずきん」に相棒ができました。その名は「ピノキオ」！赤ずきんはある目的があってピノキオと一緒に旅をするのですが、ゆく先々でまたもや事件が発生します。
名探偵のままで いて 	小西マサテル	楓の祖父は認知症を患い、介護を受けながら暮らしていました。ある時、楓が身の回りで起きた謎について話すと祖父は知性を取り戻し探偵のごとく謎を解き明かしていきます。「このミステリーがすごい！」大賞受賞作。
君のクイズ 	小川哲	生放送のTV番組『Q-1 グランプリ』決勝戦に出場した本庄という人物が、問題が読まれないうちに答えて正解し優勝を果たすという不可解な事態が起こりました。対戦相手の三島は、真相を解明しようと決勝戦を1問ずつ振り返っていきます。
プエイ伝 香川県 独立の父 	中野武宮頭 彰会	香川県は明治21年12月、愛媛県から独立して一つの県となりました。独立に向けて奔走したのが旧高松藩士の中野武宮という人物です。彼の功績を歴史小説風にまとめた本です。



〈既刊本続編・文庫本〉

5分後に意外な結末 緑に覆われた世界の出来事	桃戸ハル	テーマパークのサバイバル	ポドアルチング
// 亜麻色の 糸で紡がれた物語	//	ジュニア空想科学読本25	柳田理科雄
54字の物語Q	氏田雄介		